

高校生総合補償制度

— 傷害総合保険のご案内 —

大切なお子さまを学校が休みの日でも24時間365日補償します！
【お子さまのケガ、個人賠償責任、育英・学資・進学費用】

※自転車事故限定プランは補償内容が異なります。

補償内容の詳細は、
下記の2次元コード
からもご覧いただけます。



手続きはWEBで簡単申込み！
24時間いつでも、スマートフォンやタブレットからアクセス！

Point! 自転車搭乗中の事故が増えています

高校生総合補償制度では、ご本人のケガのほか、個人賠償責任補償で他人への賠償事故に備えられます。示談交渉サービス付（日本国内のみ）で安心です。



△ 万一に備えてヘルメットの着用を

★★秋田県自転車条例にも対応!★★

オプション 弁護のちからのご案内

いじめ・SNS被害・自転車との衝突による被害 など

上記の法的トラブルにあった時の弁護士費用をサポートします。【弁護士費用保険金、法律相談・書類作成費用保険金】

▼「弁護士紹介サービス」 **無料!**
▼「被害事故・嫌がらせ相談窓口」警察OB・OG等
トラブル対応の専門コンサルタントにお電話でご相談

上記は概要を説明したものです。詳しい内容については、事務幹事代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

☎ 随時、中途加入が可能です。学校単位での交通安全講習なども承っております。ご希望の方は下記の事務幹事代理店までお気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】

- 事務局 秋田県高等学校PTA連合会 TEL 018-863-6681
- 事務幹事代理店 秋田県保険代理業協同組合 株式会社アキタ保険 秋田市山王6-5-9 TEL 018-864-6921(平日9時~17時)
- 引受保険会社 損害保険ジャパン株式会社 秋田支店秋田支社 秋田市大町3-3-15 TEL 050-3788-3553(平日9時~17時)

SJ24-12335 (2024/12/19)

編集後記

「会報135号」をお読みいただきありがとうございます。
今年度のテーマ「持続可能なPTA活動」を実現する為、調査広報委員一丸となって、今年度の広報紙を作り上げてまいりました。皆様にとってPTA活動する上で参考になる情報はありましたでしょうか。私自身2年間調査広報委員会で活動させていただきましたが、活字離れが進む中、紙媒体ならではの触感的な体験やじっくり読み進めること等魅力に気づかせていただくことができました。
発行にあたり、原稿をお寄せくださった皆様、印刷会社のご担当者様、泉谷広報委員長はじめとする委員会メンバー、事務局の皆様へ深く感謝申し上げます。

調査広報委員会副委員長 熊谷尚輝



会報135号の編集

秋田県 高P連 会報 No.135

発行/秋田県高等学校PTA連合会 事務局/秋田市山王中島町1-1 秋田県生涯学習センター5F TEL018(863)6681 印刷/秋田中央印刷株式会社

持続可能なPTAをめざして



10月16日に開催された第37回輝き会員(旧母親会員)交流会の集合写真



続けていくことの大切さ ～親は子供の応援団～

秋田県高等学校PTA連合会
会長 佐沢かな子

新年度が始まってからあっという間に毎日が過ぎて残りわずかとなりました。

これまで会員の皆様には多くのご協力をいただき、大変感謝しております。

令和6年度は、多くの行事を通常開催することが出来ました。昨年までは参加者人数の制限を設けていましたが、今年度は制限を無くし、各校から沢山の参加者に来ていただきました。

7月に山形県で開催された高P連東北大会では会場いっぱいの参加者に、コロナ禍前のような盛り上がりが見られました。

8月に茨城県で開催された高P連全国大会では二所ノ関親方から、これからの子育てや人材育成の参考になるお話を伺うことが出来ました。秋田県からも各校

から沢山ご参加いただき、全国表彰を受けた皆様の祝賀会を開催することも出来ました。

秋には東北・中央・県南の3地区全てで交流大会を開催することができ、情報交換会は会員同士の交流を深める大変嬉しい機会になりました。全国的に各行事の縮小、zoom開催にしてはどうかという意見もありますが、対面での交流の大切さや楽しさを実感した一年でした。PTA不要論も多く囁かれています。私たち保護者にしかできない事が沢山あります。教育環境の維持、ヘルメット着用者数の増加推進、自然災害時やクマ問題への安全対策等、今後も課題は山積みです。親である私たちは、一つ一つの課題について話し合い、子供達のより良い生活のために、今後も協力し合って活動を続けていきたいと思っています。

第73回全国高P連大会2024茨城大会 開催

8月22日(木)・23日(金)の2日間、茨城県水戸市のアダストリアみとアリーナを主会場に第73回全国高P連大会2024茨城大会が開催されました。「歴史の町で変革を!!～新たな時代が目に入らぬか～」をテーマに、直接参加が約5,400人にオンライン参加も加えて、全国各地からたくさんの高等学校PTA関係者がこの大会に参加しました。秋田県からの参加申込は直接参加が18校30人、オンライン参加が2校でした。

大会は第1日目は水戸市・ひたちなか市・小美玉市で5つの分科会、第2日目は2会場(1会場はオンライン中継)で全体会と記念講演会が行われました。表彰式では秋田県から大館鳳鳴高等学校全日制課程PTAの文部科学大臣優良PTA表彰など、3団体3名が表彰されました。



茨城大会の大会会報
閲覧期間は
令和7年3月31日まで



全体会

記念講演は大相撲の第72代横綱 稀勢の里の二所ノ関 寛氏による「人材育成の不易流行」で、現役引退後、大学院で学んだことを生かして、新たな相撲部屋経営に挑戦している様子が紹介されました。出身地である茨城県に相撲部屋を構え、弟子とのコミュニケーションを大切にしながら指導している実践は、会場の参加者に大きな共感の得られる講演となりました。



第1分科会のアトラクション
「花いけパフォーマンス」
茨城県立取手第二高等学校
華道部の作品



第1分科会 小環のり子氏の講演
弘道館の石碑のダボ(接着剤)は
秋田県豊川産の天然アスファルト



受賞祝賀会での記念撮影

優良PTA文部科学大臣表彰を受賞して

大館鳳鳴高等学校 PTA会長 伊藤 高志

全国高P連大会において、大館鳳鳴高校PTAが優良PTA文部科学大臣表彰を受賞いたしました。日頃から子どもたちの活動を支え、促し、見守ってくださっている保護者、教職員、地域の皆様に厚くお礼申し上げます。

大館鳳鳴高校は今年で創立126年を迎えます。昨年の125周年において本校の先輩でもあり、メルカリジャパン上級執行役員でもある田面木宏尚氏をお招きして記念講演会が開催され、田面木氏からは生徒たちに向けて熱いメッセージが送られました。また、多方面で活躍する本校の先輩19名による課外授業も行われ、生徒は自ら選んだ授業を受けて大変有意義な時間をいただきました。講師の選定や依頼に関して、PTA役員と同窓会が協力して情報収集を行っており、学校とPTAが連携した事業であることだけでなく、地域住民の方へも広く来場を促したことも出来た事業でした。このように学校・PTA事業に際して、PTAの呼びかけから多くの関係者が

関わっていただいたことは、これまでの保護者・教職員の皆様様が、PTA活動に対して強く優しい気持ちを込め、伝え続けてきたからこそ、その結果が今回の受賞につながったものだと思っております。

今回の受賞は一朝一夕のものではなく、これまで長きにわたりPTAの活動に尽力されてきた保護者、教職員の皆様、理解を示していただいた地域の皆様のおかげです。これまで関わっていただいた全ての皆様へ感謝するとともに、子どもたちの明るい未来のために、これからのPTA活動に尽くしたいと思います。ありがとうございました。



大館鳳鳴高校 伊藤高志会長(左)と
深井裕之校長(右)



第73回全国大会団体表彰を受賞した
新屋高校 廣谷副会長(左)と
羽後高校 阿部会長(右)

告知

令和7年度 第74回全国高等学校PTA連合会大会2025 三重大会

来年度の全国大会は令和7年8月21日(木)～22日(金)に三重県津市で開催されます。津市産業スポーツセンターにあるメッセウイングNHWと日硝ハイウエアアリーナを会場に、全体会と4つの分科会が行われます。

「出会いはじまる常若のくに」～「集い、想い、つなぐ」三つの重なる明日への力～を大会テーマに、直接参加に加えて、オンライン参加(アーカイブ配信のみ)が行われます。すでに、ホームページや概要パンフレットも配信されております。たくさんの皆さんの参加をお待ちしております。



大会HPはこちらのQRコードから



祝
全国表彰
おめでとうございます

令和6年度優良PTA文部科学大臣表彰

〈団体表彰〉
秋田県立大館鳳鳴高等学校全日制課程PTA

第73回全国大会会長表彰

〈団体表彰〉

秋田県立新屋高等学校PTA
秋田県立羽後高等学校PTA

〈個人表彰〉

秋田県立大館桂桜高等学校 川田 諭(秋田県高P連 前副会長)
秋田県立横手城南高等学校 照井 元(秋田県高P連 前副会長)

〈役員表彰〉

秋田県立能代松陽高等学校 竹嶋 美佳沙(秋田県高P連 前会長)

地区交流大会 報告

県北地区

来年度の担当校は、能代松陽高校です。

心身ともに健全なたくましい子どもたちの育成に向けて ～アフターコロナにおけるPTA活動～

秋田県立大館鳳鳴高等学校 PTA会長 伊藤 高志

県北地区PTA交流大会が大館市を会場に開催されました。多くの皆様にご参加いただきまして、心より感謝いたします。単年度の連続であるPTAは3年の空白期間をおくと会員が入れ替わります。最大の引継ぎの場であった活動が出来なくなると、その連続は途切れてしまうことになります。コロナによって生まれた空白の3年が過ぎ、今は引継ぎがままならないだけではなく、アフターコロナにおける新しい価値観に合わせたPTA活動が求められています。

交流会では「心身ともに健全なたくましい子どもたちの

育成に向けて～アフターコロナにおけるPTA活動～」をテーマにし、講師の浅利博樹氏からは「**子育ては、親育て・地域育て**」という演題で新しい活動のヒントを沢山いただきました。さらに参加者同士で会話を交わした事は、これからのPTA活動に必ずつながっていくと感じました。

これから始まる激動の世界に挑んでいく子どもたちを、PTAとしていかに支えるかを考えて活動を作っていきたいと思えます。



浅利博樹氏による講演



施設見学 鳥潟会館



伊藤会長の歓迎あいさつ

地区交流大会 報告

中央地区

来年度の担当校は、聖霊学園高校です。

現代の子育て、親としての挑戦と学び

秋田県立男鹿海洋高等学校 PTA会長 阿部 良美

令和6年度秋田県高等学校PTA連合会中央地区交流大会は、初めてナマハゲの里、男鹿温泉郷での開催となりました。来賓の方々をはじめ多くの会員の皆様にご参加いただき、盛大に執り行うことができましたこと、心より感謝申し上げます。

本大会では、大龍寺住職の三浦賢翁氏を講師としてお迎えし、「**子育ての宝物 親として学び成長する**」というテーマでご講演をいただきました。三浦氏の自己紹介に始まり、これまでの子育てを通じて得られた喜びや苦勞を共有する時間となりました。

講演後のワークショップでは各グループに分かれ、高校時

代の思い出を中心に、自分たちの高校生活で苦勞したことや、恥ずかしかった事、親になって感動したことなどを率直に語り合いました。世代や環境が異なる親同士が、こうして記憶を振り返る中で、当時は苦しかった事も今では笑って話せることに、お互いの成長を改めて称え合う、笑いの絶えないひとときとなりました。

本大会、最後のアトラクションでは、本校、郷土芸能部による「なまはげ太鼓」の迫力ある演奏をご覧いただき、とても有意義な大会となりました。

ご参加いただきました皆様に改めてお礼申し上げます。



全体風景



三浦賢翁氏による講演



男鹿海洋高校 郷土芸能部 なまはげ太鼓演奏

地区交流大会 報告

県南地区

来年度の担当校は、横手高校です。

多世代で参加できるPTA活動を考える ～世代を超えた連携による子どもの健全育成に向けて～

秋田県立大曲農業高等学校 PTA会長 鈴屋 和基

令和6年度県南地区PTA交流大会が11月22日大仙市で開催され、120名を超える会員の皆様にご参加をいただいたこと、心から感謝を申し上げます。

講演会では、大仙市教育委員会地域学校協働活動統括推進員兼CSディレクターである沢屋隆世氏をお迎えし、「**地域と世代をつなぐ、PTAの可能性**」をテーマとしてご講演をいただきました。

子どもたちの健全育成のためには、子育ての当事者である親同士が協力・連携するとともに、学校や家庭、そして地域

の方々がそれぞれの立場での教育課題を共有し理解を深めていくことが『子どもの未来』そして、『地域の未来』に繋がっていく事を改めて考える機会となりました。

また、情報交換会では、今後の高校PTAの在り方について活発な意見交換が行われるなど、参加者同士の交流を更に深めることができました。

今回の交流会に向けてご尽力いただいた大曲農業高校教職員とPTA役員、そして、ご参加いただいた参加者の皆様に改めて感謝申し上げます。



横手高校 佐藤校長のあいさつ



鈴屋会長の歓迎あいさつ



沢屋隆世氏による講演

輝き会員(旧母親会員)交流会報告



みんなちがって みんないい ～子育てはカラフル～

輝き委員会(旧母親委員会)委員長 菊地 佐起子

本年度から「輝き委員会」と名称は変わりましたが、これまでの伝統のある委員会の活動を継承し、第37回輝き会員(旧母親会員)交流会を10月16日に開催いたしました。講師に湯沢市家庭教育支援チーム和輸入のチームリーダー、そして華道家元池坊秋田支部役員でもあります、後藤孝先生をお招きして「**今咲かせよう、あなた色の花を**」を演題にご講演いただきました。「同じ親から生まれたのに4人とも違うのよ、面白いわね」と、4人の子育てでのエピソードや長年にわたりPTAや地域の子育てに関わってきた体験談など研究主題につながるお話とともに、季節のお花を使った制作活動をご指導いただきました。色々な品種や色彩の湯沢産ダリアを「これは、あれは」と選ぶ皆さんのすてきな笑顔がとても印象的で、温かい雰囲気のおかげで、楽しい時間を過ごしているように感じました。

本年度、会場の席をグループごとに円卓のような感じに配置したことで「お互いの顔が見えて交流しやすかった、どのような会なのかと緊張していたが先輩お母さんたちとお話できて参加して良かった」などのお声もいただきました。アンケート結果から今後、交流会の様子や雰囲気をもっと分かりやすく、どなたでも参加しやすくなるような案内と事後報告を出していけたらと考えました。

最後に、秋田県教育庁生涯学習課の皆さま、岩手県高等学校PTA連合会の皆さまにもご同席いただき、そしてご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げ、これからもこの交流会が保護者の皆さまにとって有意義な会となりますことをご祈念いたします。

孝先生がおっしゃった「子育てに正解はない!」はすごく心に響きました。皆さま、ありがとうございました。





第2回理事会・第2回合同委員会



第2回理事会と第2回合同委員会が11月1日(金)に秋田県生涯学習センターで開催されました。理事会では、事務局から、10月までの高P連の活動報告と11月以降の予定について報告を受けました。続いて秋田県保険代理業協同組合から来年度の高校生総合補償制

度の変更点について提案があり、理事会で協議し、内容について承認されました。また、来年度の会費の改定について提案があり、正副会長会議の際に臨時総会を開いて審議してもらうことになりました。

午後からは、全県の加盟校からPTA会長が参加する合同委員会が開催されました。講演会では、秋田県生活センターの 小濱 雅志 氏と 富樫 祥子 氏から「『消費者トラブル』に遭わないために ~大人になる君の消費者力UP~」の演題で、18歳から自分の判断で契約できることに伴い、さまざまなトラブルに巻き込まれる危険性があること、秋田県で実際に起きているトラブルの実例などをお伺いし、トラブルに遭う前に保護者が良き相談相手になることの重要性を再認識する機会となりました。

その後、各委員会に分かれて、前期の活動について振り返りながら、後期の活動や11月29日(金)に開催される教育懇談会の懇談事項について話し合いました。



進路対策委員会



健全育成委員会

各委員会からの活動報告



委員長 金子 宗 元

総務委員会では、教育懇談会を企画し、11月29日に開催いたしました。この会は、県教育委員会高校教育課・生涯学習課・校長会等の担当者と県高P連役員で意見を出し合い、相互に理解を深める会として例年開催しております。

今回は、①教育全般(高P連への予算補助・県高等学校総合整備計画)・②生徒指導(自転車乗車時のヘルメット着用推進・不登校生徒への対応)・③進路指導(「若者が戻ってくる魅力ある秋田」の発信)・④学習指導(タブレット端末の保護者費用負担への

移行状況と学習支援体制の構築)などを懇談課題としました。これらに対し県教委各担当課より、資料を用い詳細に回答いただいた上で懇談いたしました。

懇談では、専門科生徒の進路の現状、「あきた留学」事業の現状や課題、県教委としてヘルメット着用を義務化出来ないのか、不登校生徒への対応に各地域の民生児童委員と連携出来ないか等、活発に意見が出され、有意義な会となりました。



第2回総務委員会



委員長 前田 周 平

令和6年度の健全育成委員会では昨年に引き続き、「登校時一声運動、マナーアップ運動の推進及び実施状況の調査」、そして「自転車保険、ヘルメット着用調査」について取り組んでまいりました。登校時一声運動とマナーアップ運動については、事務局で準備している横断幕とのほりを活用しながら高P連加盟校のほとんどの学校が積極的に取り組んでおります。生徒との触れ合いがあったり、生徒の様子を知ることができるという声が多く聞かれました。また、保護者間、あるいは保護者と職員のコ

ミュニケーションの場として貴重な機会でもあり今後も継続していきたいという感想も多かったと思います。通学時の自転車ヘルメット着用についてはまだまだ課題が山積しておりますが、それぞれの単Pで問題意識をもって取り組み始めたところです。今後、最も力を入れて取り組むべき課題であると認識しております。実態調査から問題点を洗い出し次年度の取り組みに生かしていきたいです。



鹿角高校開校式の登校時一声運動



委員長 齋藤 正 樹

令和6年度の進路対策委員会では6月の第1回合同委員会で提案された「秋田大学見学会」を10月25日に開催いたしました。また、担当委員会以外の各高校PTA会長にも呼び掛け、ご参加いただきました。

した。大変、貴重な体験をさせていただきました。特に学生への相談サポート体制が充実しており、安心して学生生活を送れる大学と思いました。また、教育文化学部の7割の卒業生が県内就職している事には驚きました。一般の方も図書館や食堂、博物館が利用できるとの事でした。もし機会がありましたら是非、足を運んでいただければと思います。

秋田大学入試課の佐々木様から各学部の特徴、人材育成に向けての取り組みや入試について、また大学生活や大学卒業後の進路等、さら到来年度に新設される新学部の説明を詳しくいただき、続いて大学の図書館や構内を移動しながらの説明がありま

皆様からはご協力お力添えいただき、大変有意義な時間になりました。重ねて感謝申し上げます。



秋田大学入試課による説明



委員長 泉 谷 悟

調査広報委員会の今年度活動は、年2回の会報発行と県内各校PTA広報紙を対象とした広報紙コンクールの審査となっております。また東北地区調査広報委員会へ出席し、PTA広報紙による情報発信の現状と課題について検討を行っております。

時における「ヘルメット着用率向上」の啓蒙を行いました。会報第135号では県内3地区で開催された会員交流大会や「輝き委員会」の活動の様子等を掲載しました。また調査広報委員会では1月16日に広報紙コンクール審査を開催し、上位入賞校を東北地区高P連広報紙コンクールへ推薦することとしました。今後も持続可能なPTAのヒントとなる情報を発信できるよう努めてまいります。

先に発行しました会報第134号では、新年度の定期総会と新役員の紹介、東北地区高P連山形大会等について記載した他、県内就職促進に関する要請を行った報告や高校がお休みの日の怪我も対象となる「高校生総合補償制度」のご案内、また自転車通学



今年度の広報紙コンクール応募作品